

第32回 白川・東白川地域公共交通活性化協議会会議録

1. 開催日時

令和6年11月22日（金）午前9時30分から午前11時30分まで

2. 開催場所

白川町町民会館1階大研修室

3. 委員（32名中23名出席）

所 属 等	氏 名	備 考
白川町長	佐伯正貴	会長
東白川村長	今井俊郎	副会長
名古屋大学大学院環境学研究科教授	加藤博和	副会長
白川町副町長	安江章	座長
白川町議会議長	藤井宏之	欠席
東白川村議会議長	今井美和	
公益社団法人岐阜県バス協会専務理事	木村治史	
濃飛乗合自動車株式会社経営企画部	有路秀彦	代理 坂上博幸
岐阜県交通運輸産業労働組合協議会	高橋直之	
大新東株式会社	佐藤久仁	
東海旅客鉄道株式会社東海鉄道事業本部	豊田智隆	欠席
医療法人白水会白川病院	松本茂	
白川町自治協議会長会会長	今井清美	
白川町商工会長	長尾達美	欠席
白川町観光協会会長	細江辰男	
白川町シニアクラブ連合会長	鈴木逸策	
白川町公共交通利用者代表	笹本恵子	欠席
白川町中学校PTA役員	清水一生	
白川町校長会会長	村上欣子	
白川町バス通学高校生保護者代表	塩月洋生	
白川町社会福祉協議会	松山良悟	
東白川村区会長	安江和広	欠席
東白川村シニアクラブ連合会代表	安江浩	欠席
東白川村高校生保護者会代表	伊藤桂介	欠席
中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	山田慎児	
中部地方整備局岐阜国道事務所管理第一課長	服部敦	欠席
可茂土木事務所施設管理課長	若園賢一	
加茂警察署交通課長	山口雅司	

岐阜県都市建築部都市 園・交通局公共交通課長	城戸協研一	
東白川村副村長	桂川 憲生	欠席
白川町役場建設環境課長	中 村 豊	
東白川村役場建設環境課長	有田尚樹	

4. オブザーバー

所 属 等	氏 名	備考
白川地区地域部会長	今井和秀	
白川北地区地域部会長	長 尾 隆	欠席
蘇原地区地域部会長	有田恒文	
黒川地区地域部会長	藤井秀男	欠席
佐見地区地域部会長	熊崎吉夫	欠席

5. 会議次第

1 会長あいさつ

2 副会長あいさつ

3 協議事項

(1) 令和6年度 白川・東白川地域公共交通活性化協議会の達成状況と評価検証について

(2) 東白川村内の移動支援の充実について

4 報告事項

(1) おでかけしらかわ・ひがししらかわ利用状況について

(2) 地域や利用に則した運行の見直しについて

(3) 高齢者交通安全大学の実施について

(4) デジタル技術を活用した使いやすいシステムの導入に向けた取り組み

(5) 地域公共交通サービスの充実への企業版ふるさと納税について

(6) 東白川村内の公共交通利用状況について

5 その他

・選挙とふるさとまつりの公共交通活用状況

・次回会議について

6. 会議内容

協議事項

- (1) 令和6年度 白川・東白川地域公共交通活性化協議会の達成状況と評価検証について
事務局より説明

(委員)

目標⑤の各地区便1台の平均利用者数の目標値8人という数値の根拠を教えてください。

(事務局)

8人の根拠ですが、目標①の目標値が56,000人となっており、この数値の伸び率と合わせて考えると8人ということで設定させていただいた経緯があります。

(委員)

大新東さんにお聞きしたいのですが、1回でだいたい何人乗せることができますか。

(委員)

人数というより予約件数になるのですが、大体これ以上入るともう予約できないというのは、1台あたり7件ほどです。

(委員)

全国のデマンド交通においても7件予約が入るとするのはそれほどないことです。

4月から乗合率を集計し始めて、50%とのことですが、一般的には10%も越えないということがあるので、相当頑張っていると思います。現在は自然知能で予約受付をしているとのことですが、今後予約件数が増えていくと混乱してしまうので、AIにならざるを得ないです。今後乗合率を増やしていくためにも、スポーツイベントであったり、子どもさん同士で乗っていただいたり、いろいろなことに使えるというのをもっと宣伝していただきたいです。ぜひ皆さん一緒に考えて、どんな場合に使えるか、こういった利用がしたいのもっと使いやすくしてほしいなど、役場が困るくらい意見を出していただければいいなというのがお願いです。

(委員)

新しい取り組みとして、社協でおたっしや教室を開催する際に、公共交通を利用するというお話を聞いておりますが、社協様に説明していただけますでしょうか。

(委員)

毎週火水木金に町内の4会場で高齢者を集めた介護予防事業、おたっしや教室を開催しています。自家用車で来られる方もおりますが、中には免許返納された方や運転を控えている方も見えますので、これまでは社協やシルバー人材センターからの派遣で送迎対応をしておりました。最近、シルバー人材センターの方から、運転手の高齢化と人材不足のため運転事業を辞めたいというご相談を受けました。送迎を無しにすることは難しいので、大新東様に相談させていただきました。教室の開催時間は13時30分から15時のため、帰りの時間が学校の下校バスに間に合わなくなるということで、13時から14時30分に開催時間を変更し今後の送迎をおでかけしらかわに依頼することを考えております。まずは試験的に木曜日の教室のみ12月から対応していただきます。そこで上手くいけば他の地区でも送迎を全てお願いできればと思っております。

(委員)

白川病院様、病院でのバスの利用状況を教えていただいてもよろしいでしょうか。

(委員)

外来患者様は人口減により減少しておりますが、バスに乗っている方は5年間ほど変わっていないです。各地区バスの実績の中で気になる点がありましたので教えていただきたいです。6月から9月まで特に蘇原地区で利用者が減少しておりますが、理由はありますでしょうか。

(事務局)

蘇原地区の減少についてですが、元々出勤で利用している方と、透析に利用している方が見えました。その2名が利用しなくなったための減少となっております。出勤は週5日、透析は週3日利用しますので、往復で考えるとこれだけの減少になります。

(委員)

白川病院のバス利用状況が横ばいという話がありましたが、それで頑張っていないってことを皆さんは思っていないと信じたいです。人口そのものが減少しており、高校生とかだと大きく減少し続けている中で、横ばいは普通あり得ないですし、十分頑張っていると評価していいです。町内から高校に通う場合、濃飛バス、JR 接続便、各地区バスを使って通うことができますので、仕組みさえわかっていたら本当に使いやすいものだと、こんな手厚いところはなかなか過疎地ではないです。ぜひ高校生に仕組みを理解していただくために、はっきりとお伝えしてPRしていただきたいです。高齢の皆さんでも食わず嫌いな人が多いと思うので、ぜひどんどん勉強会や体験会を各地区で発案して、役場や大新東に協力してもらうという形でやっていただきたいです。

観光の面では、若い人は車に乗ってこなくなっているの、白川口駅から白川、東白川各地へ行けるということを観光協会さんでしっかりPRしていただきたいです。

白川病院の場合は、ヘビーユーザーが多く利用者も多いので、待っている際に私はこれで帰るよと言うとそんなのがあるんだというのが広まっていきますが、逆に考えると、不便の場合も一斉に広まっていくので、どんどんつかわなくなってしまうのが怖いですが、今は決して不便ではないので、皆さん使っていただけます。この流れを大事にしながら、他のところでも同じ流れを作っていただきたいです。これを推進する中で、乗合率などもより効率化していくということをご理解いただいてそれぞれでお取り組みいただきたいです。

(座長)

高校生の利用について話がありましたが、高校生保護者代表様なにか意見はありますか。

(委員)

いろいろな改善をしていただいております、数年前と比べると大変利用しやすくなったと思います。中学生の方にもいろいろ説明とかしながら個人的にも利用を進めているところです。おでかけしらかわには本当に感謝しているのですが、今ちょうどテスト期間中でして、昼前くらい

に学校は終わっており、JRの便はその時間帯薄いのですが、各個人美濃加茂方面などで時間をつぶして、おでかけしらかわで帰ってこられるのでありがたいなと感じています。予約の部分は今後より良く改善していただければと思います。

(2) 東白川村内の移動支援の充実について 事務局より説明

(委員)

2点確認したいことがあります。例で白川病院に行く場合が記載されておりますが、それ以外でどのような利用に需要があり今の公共交通で対応しきれていないのかという認識があれば確認したいです。もう1点は料金についてですが、初乗り運賃が11キロで設定されておまして、一般的なタクシーだと1.1キロからという設定が多いですが、この設定で近距離での申し込みがあるとタクシー運賃よりも割高になります。料金設定についてはどのような考えをお持ちでしょうか。

(事務局)

病院以外にも、買い物支援や通学支援も考えています。料金については、村内の全長が約10キロになりますので、往復で利用すると考え11キロという設定にしました。

(委員)

片道での利用は基本的に受け付けないということでしょうか。

(事務局)

片道でも利用はできます。ですが、料金については我々の帰りの料金も請求させていただこうと考えています。

(委員)

タクシーの運賃というのは、片道の運賃を設定しているものではなく、そこから元の位置まで帰ってくる費用も含めて運賃の原価計算をしていますので、基本的に帰ってくるための金額を請求するというのはできません。金額の周知であったり考え方をより整理する必要があるので、例えばタクシーには時間制運賃というのもありますので、そういったものを参考にもう少し詰めた方がいいかと思います。

(事務局)

ありがとうございます。料金に関しては今後相談して内容を詰めていきます。

(委員)

予約は何日前まで受け付けますか。飲み会などで利用することもできますか。

(事務局)

3日前までの予約制にしようと考えております。飲み会などでの利用も想定しています。車両がマイカーになるので、大勢での利用は厳しいですが、運転手には7人乗りの車を持っている方も見えますので、その方が担当できれば6人くらいまでなら乗車可能です。

(委員)

利用できる方の対象は限られていますか。

(事務局)

基本どなたでも利用可能です。

(委員)

予約に関して、3日前までだと突発的な利用の際に不便だと感じます。料金設定について、例で白川病院まで15,600円と記載されておりますが、現状だと白川病院利用の際はおでかけしらかわを利用して無料で行けますし、その後に買い物利用もできます。15,600円もかけて利用するという想定は一般のお客様にわかりづらいと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

3日前までというのはあくまで想定ですので、今後考えていきます。料金に関しては、既存の交通事業者様との競合は全く考えておりませんので、このような形で良いと言っただけのお客様に限って利用していただければと思います。例は病院利用が多いということで白川病院を記載しておりますが、現在白川病院へ公共交通で行っている方がこちらに乗り換えるということは想定しておらず、あくまでイメージです。

(委員)

マイナスを出さずに事業を行うとのことでしたが、マイナスを出さずにというのは具体的にどのようなことでしょうか。

(事務局)

普通の事業所ですとお金を蓄えてバスを買ったりなど、今後の事業継続や新たな事業のための蓄えが必要ですが、我々は副業として事業を行いますので、生活の援助の為に動いた分の時給はいただきますが、そのような意味でのマイナスを出さないという意味です。

(委員)

今までの話を整理させていただきます。労働者協同組合についてですが、何かやりたいという人たちが集まって出資して会社のように仕事をしていくというものです。営利でも問題ないです。行政サービスではなく、商売に近いものであるということを皆様に覚えていただきたいです。タクシー会社ではないので、会社の設備ではなくそれぞれの車を出して運ぶというものなので、人件費や燃料費、あとは保険などを含めた額をいただくということになります。交通空白地有償運送というのは通常非営利のところが行うことになっているんですけど、実はこの労働者協同組合

も交通空白地有償運送ができることになっていきますので、趣旨には合致しています。

11キロ3,500円は少し高く感じますが、大新東さんのように1日に何回も運ぶわけではないので、1日1回あるかないかとなった場合運転手からしたら3,500円は欲しいという意味だと思います。東白川の幅がだいたい10kmほどになりますが、平均すると5km行って帰ってということで11kmに設定をしています。それより短い距離についても、3,500円はいただきたいということで同額になります。資料では白川病院を想定していますが、今も生きやすいのであまり想定としては良くないです。むしろ東白川や白川よりも遠くに行きたいという人のためと考えるとイメージとしてはわかりやすいです。今は東白川にタクシーを呼んで中津川や美濃加茂方面に行くというのは金額的に不可能だと思います。タクシーの場合は何万円単位になりますが、これだとその半額以下になるということなので、額だけ見ると高く感じますが、不適正な額ではないと個人的には思います。細かい部分については調整が必要ですが、今後運輸支局様にも全面的にご協力いただきながら作っていったらと思います。

(委員)

美濃加茂市の中部国際病院に行きたいとなった場合、費用を払ってでも行きたいという方は必ず見えるので、このサービスをやっていただけるのは大歓迎です。カモシカ団がこのようなサービスを思いついてくださったのは非常に評価していますので、途中でくじけることなく頑張ってくださいたいです。

報告事項

- (1) おでかけしらかわ・ひがししらかわ利用状況について
- (2) 地域や利用に則した運行の見直しについて
- (3) 高齢者交通安全大学の実施について
- (4) デジタル技術を活用した使いやすいシステムの導入に向けた取り組み
- (5) 地域公共交通サービスの充実への企業版ふるさと納税について 事務局より説明

(委員)

デジタル利用について補足させていただきます。今大新東でどのように予約を受けているかというのをしっかり AI に勉強してもらって、AI だけでも滞りなく予約を受け付けられるようにしないとイケないです。ただ予約を AI で受け付けるだけではなく、高度化していくことが大切です。一般的には人から AI になると乗せる人数が下がります。現在の白川町はかなり高度な予約受付になっているので AI にすることでより台数が必要になり本末転倒になる恐れがあります。だからこそ今のノウハウをしっかりと AI に組み込めるとい業者を探し、それが実現できれば全国的に見ても面白い事例になると思うので実現していただきたいです。

(事務局)

黒川地区の宿で外国人の方からの予約が増えておりまして、この方たちは白川口駅に来られてタクシーがあるのが当然という思い込みがあるので、宿で個別に対応をしているのですが、バス

センターで今後多言語対応をどのように考えているのか AI になってときには多言語対応できるのかを教えてくださいたいです。

(委員)

黒川地区で働いている外国人の方の予約も現在対応していますが、片言の日本語で説明していただいております、こちらは全く外国語を話せないのでもよく伝わらなくて待ちぼうけしてしまったとか、場所の勘違いということもありますので、今後そういった部分は考えていかなければならないと思っています。

別の話になりますが、先日珍しい使い方があったので紹介させていただきます。いつも利用してくださる方なのですが、誕生会をしたいということで、2人が乗られて一番若い方がバスセンターの方に予約電話をしてくださりました。マツオカやゲンキーでお菓子を買って、誕生日の方の家に行って誕生会をされて、帰りはまた予約時間に迎えに行って家まで帰ったというようなことがありました。何でもないような利用に感じますが、3名の方の合計年齢が290歳です。全員90歳でも270歳なので、それより上ということで、名古屋とか東京でもこれはなかなか実現できないことではないかと思ひまして、白川町ならではと感じたのでおそらく世界最高齢の女子会ということでとてもいい話だと思ひ紹介させていただきました。

もうひとつありまして、利用者の状況についてですが、現在買い物と病院、それから通学に関しては充実してきたなと思っています。習い事で週に1、2回町内の体育館や書道教室など行かれることがあると思いますが、その面で考えるとまだまだ利用しづらいですし、どういうふうに使っていいのかわかっていない部分があると感じています。町内が広い中で子どもの人数も減ってきており、この競技はこっちあの競技はこっちのように広い範囲で様々な活動が行われています。例えば黒川から蘇原まで夕方行きたいという予約がありますが、一旦白川口駅まで行ってもらい、そこからJR 接続便に乗り継いでということでロスも多いです。逆に会場自体を本当にそこでやらないといけないのかということや指導者や保護者に改めて考えていただき、どこでどの時間にやれば公共交通でスムーズに参加できるのかを重視して考えられるようにしたいと思っています。おたっしや教室で社協さんに時間を合わせていただいたように、今後習い事でも時下にか場所を合わせていただけるように、行政の力も借りてやっていきたいと思っていますのでよろしくお願ひします。

(6) 東白川村内の公共交通利用状況について 事務局より説明

(委員)

つちのこバスを今後高校生の通学に利用できるようにする見通しは立っているのでしょうか。立っているのでしたらこれは無料で利用できるのでしょうか。

(事務局)

まだ具体的な見通しは立っていないですが、今後通学に利用ができるということになれば基本無料となります。

(事務局)

高校生の通学で無料で利用できるのは素晴らしいと思います。今年度卒業生が38人いるのですが、親御さんと話をすると、結構お金かかるよねという話になるので、無料になるといいなと率直なお願いです。

その他

選挙とふるさとまつりの公共交通活用状況

次回会議について

事務局より説明

(事務局)

本日も活発な議論をいただきましてご相談申し上げた、全ての案件についてご承認をいただきましてありがとうございました。

引き続き満足度の高い地域公共交通のためにご協力をお願いしたいと思います。

それでは本日第32回白川・東白川地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

会議終了 午前11時30分